



9月12日提出 八地申第1号

JR東労組八王子地本第28回定期大会発言に基づく申し入れ 提出！！

八王子地本は2024年7月20日に第28回定期大会を開催し、多くの代議員から「新たなジョブローテーション運用でのコミュニケーション不足」「業務量に対する要員不足」「みどりの窓口閉鎖による一極集中」など、施策と職場現実の歪みが生まれている実態が多く発言として出されました。大会発言に基づいて、八地申第1号を9月12日に八王子支社へ提出しました。

私たちは会社施策に向き合い、安全を第一に職場を創り出していくため、団体交渉に臨みます。

【申し入れ項目】

1. 「新たなジョブローテーションの運用」において、本部・本社間での議論経過と議事録確認を遵守し、管理者は社員の自ら描いたキャリアプランの実現に責任を持ち、本人希望の尊重と納得感をつくり出し、意思疎通が不十分なままの異動や担務変更をおこなわないこと。
2. 各箇所において要員需給が厳しく支社からの兼務、融合と連携で出面を確保している現状である。要員を確保し希望通り年休や短日数勤務の休日が取得できるよう是正すること。また、乗務員の確保は駅の乗務員経験者を本人希望に基づき活用すること。
3. みどりの窓口は機器では対応できない需要があり、多くのお客さまが必要とされている。窓口の削減により現存の窓口においてお客さまの徒列が増大し、サービス低下につながっている。今後の展望を示し、徒列を解消できる販売体制をつくり出すこと。
4. 青梅～奥多摩間のワンマン運転について、運転士が、運転・ドア操作・放送案内・無人駅での車いす対応と役割が多くあることから、集中力を維持するために連続2往復の行路を見直すこと。
5. 東所沢駅乗務員詰所が廃止され乗務員が十分な休憩時間を確保するため、乗継の際は往復の準備時間に10分付与すること。
6. 旅行需要の拡大により、中央線特急の一人乗務は車内改札業務が全車両終わらない現状があるため、車内秩序維持も含め車内改札要員を確保し料金逋脱防止を図ること。
7. 設備職場において、モニタリングセンターから不具合箇所としてあがってきた画像の切出しの確認をメンテナンスセンターで行なっている。経験の浅い社員が担当していることもあり不具合であることを見逃してしまう可能性があるため、輸送障害に発展してしまっても担当した社員に責任追及しないこと。また、教育の充実を図ること。

安全で安心して働ける職場を創り出そう!!